

# 2022年(令和4年)度事業報告及び決算の件

## I 2022年(令和4年)度事業の総括

2019年度末から国内外に蔓延し、社会的に大きな影響を与えた新型コロナウイルス感染症は、2022年度においては、2021年度末から2022年度初めの第6波、2022年度夏場の第7波においては感染力の高いオミクロン株の影響で感染者は爆発的に増加した。一方で、ワクチン接種が進んだことや、致死率や重症化率が以前より低下したことから、第7波以降は緊急事態宣言などの行動制限は行われず、療養期間が短縮されたほか、空港での水際対策が緩和されるなど、国の感染対策は大きく変化した。ただ、秋からの第8波は第7波をさらに上回る規模で感染が拡大し、亡くなる人も過去最多を更新するも、コロナ対策と社会経済活動の両立を図る方向性も打ち出され、年度後半からのコロナ収束の兆しも相まって規制緩和も進み、ウィズコロナの名のもと様々な制約があった経済活動はじめ諸活動も活性化しつつあり、インバウンドも2023年に入り徐々に戻りつつある現状がある。

他方、ロシアによるウクライナ侵攻は、終息目途が全く見えない状況が続き、エネルギー・食料等の価格高騰を引き起こした。国内でも、防衛費増大、長年の少子高齢化問題は深刻さを増し、中長期的な不安要素は増加している。

前述のようにコロナ禍影響、世情揺れ動く中、当財団事業活動においては、概ね順調に推移した。助成先の活動においても、助成活動に影響が出た団体・個人が「年度内活動を翌年度に延期した」件数は、2021年度は延期42件、中止9件であったが、2022年度は延期2件、中止(一部企画中止含)4件と減少した。

例年比30%減となった2021年度177件の公募助成申請数も、2022年度は216件に増加(前年比122%)、採択件数127件、採択率59%、平均助成金額23.6万円(2021年度採択件数118件、採択率67%、平均助成額23.7万円)となり、コロナ禍の中でも積極的に活動を行う団体・個人を助成した。

助成の成果報告会は、コロナ禍においてオンライン形式での実施にシフトした形を継続、延べ4日間31団体・個人が報告し(2021年度延べ4日間、32団体・個人)、オンライン上で審査員がコメントした。引き続き動画配信により、各発表・コメントは多くの方が視聴できる環境を維持した。

また、2021年度に財団設立35周年の記念事業として導入された、「助成事業の電子申請等を運用する助成業務支援システム」を本格稼働させ、教育文化活動助成電子申請による申請者の利便性向上、審査委員会から成果報告の一連業務効率化を図ることができた。

調査研究事業としては、「美術館へ行こう!プロジェクト」企画(後に「ハロー!ミュージアム」企画に名称変更)をテスト的に実行、後で述べる周年記念講演会で、対外的にもキックオフ、2023年度本格的に事業を開始する。

広報事業一環で新たな取り組みのテストとして「瀬戸芸スタディツアー企画」を実施、こちらも運営スキーム等強化して継続実施の目途がたち、2023年度中高生を対象とした事業活動として展開していく。

3月に脳科学者中野信子氏を講師として招き、「アートは人を耕す」との演題、周年記念講演会を実施、700名超えの観客を動員、その場で当財団の活動紹介を行い、多くの一般の方々へ当財団活動を周知する良い機会を創出できた。こちらの講演も2023年度動画で視聴可能とし、より多くの方へ文化・教養情報を共有していく。

## 2022年(令和4年)度の主な事業実績

### 公益目的事業Ⅰ 教育文化活動支援事業

#### 1 表彰事業

- ・ 2019年度より一本化した「福武教育文化賞」の第4回目として実施し、5件(2個人、3団体)の贈賞を行い、受賞者からこれまでの活動と今後について発表いただいた。
- ・ 昨年に引き続き、新型コロナウイルスの感染懸念により通常の大規模な開催を改め、必要最低限の受賞者家族、推薦者等関係者のみに参加人数を絞り、短時間での開催とした。(参加50名)
- ・ 選考委員会の開催前に、各選考委員には事前に推したい候補者を提示いただき、選考委員会は対面で行い、1時間に短縮した。
- ・ 贈賞式は、コロナ禍に対応した前年同様に単独開催で対面形式でのみ実施した。
- ・ 2022年度の概要は以下のとおりである。

#### 福武教育文化賞

- ① 5月～6月推薦受付(市町村及び各教育委員会、報道機関、大学等180の宛先に依頼)
- ② 推薦状況:15件(個人5件、団体10件)(昨年は、計13件、個人6件、団体7件…重複1件含む)
- ③ 8月25日選考委員会を開催し、2個人、3団体に決定(会場:岡山プラザホテル)  
…小林照尚(彫刻家)、森野美咲(ソプラノ歌手)、上田手漉和紙工場(津山市)、おはなしのWA♪(代表 遠藤寛子/岡山市)、ズンチャチャ(代表 須原由光/倉敷市)
- ④ 11月12日贈賞式を開催し、受賞者は各10分の発表を行った。式典終了後の交流会は、2021年度に続きコロナ禍のため実施しなかった。(会場:岡山プラザホテル)

#### 2 助成事業

##### (1) 教育文化活動助成(公募)

2019年度から「教育文化活動助成」として一本化し、教育的・文化的な視点から岡山県内地域の発展・向上を目指した活動を対象とし、申請区分は以下のとおりとしている。

1. 地域社会(コミュニティ)の活性化のために教育や文化芸術を活用する活動
2. 次世代育成のために教育や文化芸術を活用する活動
3. 教育の質の向上や普及に取り組む活動
4. 文化芸術の質の向上や普及に取り組む活動

- ① 2021年12月1日～2022年1月31日受付  
期間中の応募総数は、216件(21年177件、20年241件、19年235件)
- ② 審査委員に事前審査を依頼(各担当部会の申請書を審査し、評価点とコメントを記載)
- ③ 部会毎にオンラインで審査委員会を開催  
各委員は事前に事前評価票を提出し、事務局集計後に各部会を開催した。  
127件を採択(採択率59%、1件当たり平均助成金額23.6万円)、総額3,000万円
- ④ 3月20日理事の過半数以上の同意を得て助成対象者を決定し、採否を応募者全員へ連絡した。
- ⑤ 2022年4月中旬に助成金を各助成対象者に支払った。
- ⑥ 2022年度初めてオリエンテーションを実施した。すべての助成団体を対象に、オンラインで2回開催。参加できなかった団体には動画提供も行い、一年間の活動が円滑になるよう努めた。
- ⑦ 活動に関するヒアリング、地域交流を図るため、「情報交換会」をエリア別にオンラインにて実施した。
- ⑧ 2021年度に導入した電子申請システムの修正を行い、申請画面の確認や応募手続きをわかりやすくすることなどに努めた。

- ⑨ オンライン成果報告会を11月24日、25日、26日、28日の4日間にわたり実施。計31団体・個人が成果報告し、オンライン上で審査委員がコメントをした。延べ参加者数は約200名。各発表及びコメントの動画は、YouTubeで公開した。

## (2) 福武教育文化賞受賞者フォロー助成

受賞後3ヵ年各30万円を限度として申請に基づき助成することとし、昨年度は、以下の10件(総額300万円)について助成した。

… 竹内佑宜、柴田れいこ、備中志事人、たまのステューデントプログラムガイド事業、「杜のアート展2022」実行委員会(NPO法人灯心会スカイハート灯)、川嶋絢、山地真美、「老いと演劇」OiBokkeShi(菅原直樹)、一般社団法人The MOST(福田廉之介)、軸原ヨウスケ

## (3) 特定の特色ある活動に対する助成(特定助成)

2021年度に続き、以下の3分類として助成した。

### ① 先進的事業助成 12件 1,618万円

新たな教育文化的価値の創造に寄与する先進的かつ実践的な活動を行う団体等に対して助成した。

- ・ 国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生講座の教育研究
- ・ 高校と地域の連携・協働
  - … 岡山県立津山商業高等学校「津商モール」、矢掛高校ジョブ図鑑、井原の魅力発掘委員会、地域のビジネス活性化を目指した動画作成活動、高梁高校 MEGUMI、瀬戸内人権映画祭実行委員会
- ・ 学校出前講座事業 … 公益社団法人岡山県文化連盟
- ・ 多様な芸術文化鑑賞支援
  - … 「岡山の美術」活性化事業実行委員会、健康と豊かな人生を創るためのビジュアルアート教育、特定非営利活動法人アートファーム、一般社団法人クニヨシパートナーズ

### ② グローバル化事業助成 5件 150万円

国際的人材育成につながる活動を行う団体等に対して助成した。

- ・ 英語力向上につながる研修事業
  - … 備前まなび塾+英語体験教室実行委員会、矢掛町外国語教育推進研究会、こくさいこどもフォーラム岡山、岡山県立大学アウトリーチ自主ゼミナール
- ・ 日中青年交流
  - … 岡山県日中教育交流協議会

### ③ 瀬戸内文化育成助成 6件 230万円

瀬戸内文化の育成、創出のために必要なプロジェクトに対して助成した。

… たまの☆おもてなし推進委員会、こども芸術アプローチ実行委員会、特定非営利活動法人アートファーム、特定非営利活動法人公共の交通ラクダ、日本美術教育学会岡山支部、玉野みなと芸術フェスタ実行委員会

## (4) 公募助成に準じる緊急を要する等の助成

実施しなかった

### 【助成事業一覧】

事業内容	助成件数	助成金額(万円)
教育文化活動助成(応募216件)	127	3,000
福武教育文化賞受賞者フォロー助成	10	300
特定助成	23	1,998
公募助成に準じる緊急を要する等の助成	0	0
合計	160件	5,298万円

### 3 研修会等開催事業

#### (1) 設立 35 周年記念講演会

2023 年 3 月 4 日（土）岡山コンベンションセンターにおいて、脳科学者である中野信子氏講演会「アートは人を耕す」～教育界で注目されている対話型鑑賞～を実施。参加者 700 余名参加。講演に先立ち当財団の活動紹介を実施、一般の方への周知機会とした。併せて、後述する「美術館へ行こう！プロジェクト」（「ハロー！ミュージアム」と改称）のキックオフとして、パイロット的に実施した 3 校（岡山大学教育学部附属小学校、美咲町立加美小学校、吉備中央町立津賀小学校）のうち加美小学校による報告と対話型鑑賞のデモンストレーションを舞台上で実施し、好評を博した。また、講演会場ロビーでは、講演会の前後に一般参加者にも対話型鑑賞を実体験していただくべく、一般社団法人みるを楽しむ！アートナビ岡山、公益財団法人福武財団の 2 団体による体験会を実施し、多くの参加を得、対話型鑑賞を実感していただけた。

#### (2) and F 教室

地域で活動する個人・団体を対象に、共通する課題（運営、基盤等）の解決につながる研修として実施してきた and F 教室は、2021 年度の第 13 回から、新型コロナウイルス感染予防のため、集合せずオンラインで実施、2022 年度も同様に第 15～17 回の 3 回はオンライン実施、コロナによる外出規制他が緩和された 2023 年 2 月実施の第 18 回は、集合研修として実施した。助成対象者等を講師に迎え、これまでの活動経験を基に知見や知識を共有してもらい、参加者にとっても深い学びとなった。計 4 回実施、参加者計 71 名。（前年度計 4 回実施、54 名参加）

- ・ 6 月 24 日 第 15 回 自分たちの活動を社会に発信しませんか？  
ープレスリリースとは何かを学びましょう  
講師：瀬尾由紀子（山陽新聞 NIB・NIE 部長、編集委員室委員）
- ・ 8 月 21 日 第 16 回 プレゼンテーションの基本の「き」  
ープレゼンテーションが上手になるコツ  
講師：坂ノ上博史（一般社団法人 高梁川流域学校 代表理事）
- ・ 10 月 19 日 第 17 回 みんな活（みんなの活動）合同説明会  
ー申請前に知っておきたい、やっておきたい準備  
講師：石田篤史（（公財）みんなでつくる財団おかやま 初代表理事）
- ・ 2 月 11 日 第 18 回 対話型鑑賞を体感してみませんか  
講師：間部俊一（株式会社ベネッセホールディングス 本社・直島統轄部）  
会場：株式会社ベネッセホールディングス南方本社

### 4 調査研究事業

岡山県の子どものための教育文化課題の解決や人間力向上のために必要な調査研究等の中長期の視点で以下のような活動を行った。

#### (1) 教育文化活動助成に関するアンケート調査の実施準備

- ・ 2021 年度に設立 35 周年として、2008 年度から 2020 年度に助成先団体・個人（1327 件）に、アンケートを実施し、その実績を踏まえて今後継続的に実施すべく、2022 年度活動報告時（2023 年 5 月）に統一アンケートを実施する。アンケート設計等その準備を行った。引き続き、実施にあたり、青尾謙氏（岡山大学学術研究院社会文化科学学域 准教授/公益財団法人 助成財団センター 特別参与）の協力を得ている。

#### (2) 資金調達説明会等への参加

活動内容紹介を通じ、助成先候補団体・個人との相談機会を持ち、現場情報の収集に努めた。

- ・ 資金調達基礎講座（NPO 活動支援センター・ゆうあい主催）に参加（9 月 20 日、10 月 6 日）

- ・ NPO 活動資金調達基礎講座(岡山県文化連盟主催)に参加(11月1日)
- ・ 岡山県内の文化芸術関係財団・社団法人の情報交換会を開催(10月28日、3月7日)
- ・ 岡山県・アートで地域づくり実践講座実行委員会主催「ART で地域づくり実践講座 in 瀬戸内市」に参加(1月14日)。修了予定者に対して、公募助成制度を説明し、事前相談を行った。

### (3) 小学生の美術館体験事業「美術館へ行こう！プロジェクト」(「ハロー！ミュージアム」と改称)

コロナの影響で実施を延期してきた、県内の小学生全員が、卒業するまでに一度は美術館を訪れ、本物のアートに出会い、わくわくする体験をしてもらうことを目指す事業「美術館へ行こう！プロジェクト(「ハロー！ミュージアム」と改称)」を本格的にスタートさせるべく、昨年度はパイロット校小学校3校(岡山大教育学部附属小学校、美咲町立加美小学校、吉備中央町立津賀小学校)で、大原美術館の協力を得て実施した。これらの総括を経、また公益財団法人みんなでつくる財団おかやまと大原美術館の協力を得て、2023年度からは公募助成事業(県北の小学校3・4年生対象、10校程度規模での実施)としてスタートできる枠組みが整った。

## 5 主催公演事業

一昨年度に引き続き、昨年度も休止中

## 6 広報事業

コロナ禍による市民活動の減少を懸念し、財団の活動に対する認知や公募助成の周知をより高めるべく様々な施策を行った。広報機会を増やし、丁寧な対応に努めた。

- ・ 県内市町村教育委員会への巡回訪問を秋季に行い、主に公募助成事業の周知協力方を依頼した。
- ・ 財団公式 Web サイトは、直近6年間の教育文化活動報告書が検索できるよう、基盤整備を行った。
- ・ 財団機関誌「FUEKI」は、年3回発刊(78~80号)し、瀬戸芸スタディツアー、美術館へ行こう！等の活動紹介を行った。
- ・ 公募助成申請希望者には、事前相談(対面、オンライン)で計37件(昨年23件)の団体・個人に対応した。
- ・ 京橋朝市会場を、助成先などの活動紹介の場として活用するテストとして、幾つかの助成先などにブース出展を呼びかけ実施した。瀬戸内国際芸術祭実行委員会(玉野市)、国吉康雄記念-美術教育研究と地域創生講座、科学わくわくクラブ等。2023年度も予定。
- ・ 瀬戸内国際芸術祭2022の島々をフィールドに、学ぶ鑑賞体験スタディツアーを、NPO法人瀬戸内こえびネットワークの協力の元、実施。プログラム対象を高校生、大学生、社会人に分け、高校生10名(犬島)、大学生13名(豊島・直島)、社会人6名(男木島・女木島)が参加した(高：夏、大：春、社：秋)。各ツアーとも、事前学習(オンライン)・現地視察・報告会というフローで、単なるアート鑑賞にとどまらず、「在るものを活かし、無いものを創る」というコンセプトを体感し、高校生は「自分達の住んでいる地域の可能性」を発表、大学生は「地域を元気づける新たなツアー」を、社会人はツアーから学んだことをヒントに「自分の関わる地域でのイベントやツアー」を企画した。プログラムディレクターとして、高校生プログラム：室貴由輝(岡山県教育委員会高校魅力化推進室室長)、大学生プログラム：成清仁士(ノートルダム清心女子大学准教授)、社会人プログラム：江森真矢子(一般社団法人まなびと代表理事)各氏に依頼。2023年度ブラッシュアップして展開予定。

助成団体の活動状況等を把握し、助成対象者同士の交流を促すため、エリア別情報交換会を2021年度に続きオンラインで実施、審査委員他関係者も参加し相互啓発の機会となった。また、テーマ別活動報告会を対面で実施。教育文化活動する団体の課題に対して、みんなで考える場を提供した。

【エリア別オンライン情報交換会】実績6回(2021年度5回)、36団体40名(2021年度48団体・55名)、審査委員他26名(2021年度32名)参加

- ・備前エリア①（岡山市）：6月4日 8団体8名
- ・備前エリア②（岡山市）：6月25日 6団体6名
- ・備前エリア③（玉野市・備前市・瀬戸内市・赤磐市・和気町・吉備中央町）：7月9日 8団体10名
- ・備中エリア①（倉敷市）：7月23日 6団体8名
- ・備中エリア②（笠岡市・総社市・高梁市・新見市・浅口市・里庄町・早島町）：8月6日 5団体5名
- ・美作エリア①（津山市・真庭市・美作市・鏡野町・勝央町・奈義町・久米南町・美咲町・西粟倉村・新庄村）：8月27日 3団体3名

【テーマ別活動報告会】対面実施1回 25名参加 会場：天神山文化プラザ

- ・テーマ ○財団活用事例 ○行政との連携事例 ○大学との連携事例

## 7 周年記念事業

次の4つの事業を実施した。

### (1) 公募助成金の増額

コロナ禍での申請数増加に対応するため、公募助成事業へ200万円を増額した。

### (2) 記念誌発刊とWeb改定

財団設立35周年記念誌を6月に2000部発刊し、関係先へ配布した。

財団ホームページを改定し、助成団体の成果報告書がアーカイブとして容易に検索、利用できるように整備した。2022年度は、6年分（2011年～2016年）をアーカイブした。

### (3) 記念広報

11月12日に、山陽新聞全県版に全5段広告を掲載し、第5回福武教育文化賞受賞者と公募助成事業の広報を行った。

### (4) 高梁川流域マルシェ and F フェス

地域振興や社会課題に取り組む参加団体の交流、地域への発信を目的に9月4日倉敷芸文館前広場、アイシアターで開催した。

## 財団運営

### 1 理事会・評議員会

#### ○ 2022年(令和4年)5月30日

##### 第1回理事会（書面）

- 提案① 2021年(令和3年)度事業報告及び決算の承認の件
- 提案② 2022年(令和4年)度定時評議員会開催の件
- 提案③ 補欠評議員候補者の提案の件
- 報告① 資金運用状況報告
- 報告② 2021年(令和3年)度助成事業報告

#### ○ 2022年(令和4年)6月18日

##### 第2回理事会

- 議案① 理事及び監事候補者の提案の件
- 議案② 2022年(令和4年)度表彰事業選考委員会委員の選任の件
- 議案③ 株主としての権利行使承認の件
- 報告① 代表理事等職務執行状況報告
- 報告② 教育文化活動に関するアンケート調査について
- 報告③ 岡山大学寄付講座 第3期活動の開始と令和3年度活動報告

○ 2022年(令和4年)6月18日

**定時評議員会**

- 議案① 2021年(令和3年)度事業報告及び決算の承認の件
- 議案② 理事及び監事の選任の件
- 報告① 2021年(令和3年)度助成事業報告
- 報告② 教育文化活動に関するアンケート調査について
- 報告③ 岡山大学寄付講座 第3期活動の開始と令和3年度活動報告

○ 2022年(令和4年)6月18日

**第3回理事会**

- 議案① 理事長、副理事長及び常任理事の選定の件

○ 2023年(令和5年)1月24日

**第4回理事会(書面)**

- 提案① 2023年(令和5年)度助成事業審査委員会委員の選任の件
- 提案② 2022年(令和4年)第2回評議員会開催の件

○ 2023年(令和5年)3月11日

**第5回理事会**

- 議案① 常任理事の辞任の件
- 議案② 補欠理事候補者の提案の件
- 議案③ 特定費用準備資金の保有について(周年事業資金引当預金)
- 議案④ 特定費用準備資金の保有について(公募助成資金引当預金)
- 議案⑤ 2022年(令和4年)度収支予算書の補正の件
- 議案⑥ 2023年(令和5年)度事業計画書・収支予算書の件
- 議案⑦ 就業規則一部改正の件
- 議案⑧ 職場におけるハラスメント防止に関する規則制定の件
- 議案⑨ 育児・介護休業等に関する規則一部改正の件
- 報告① 代表理事等職務執行状況報告
- 報告② 資金運用状況報告

**第2回評議員会**

- 議案① 補欠理事の選任の件
- 議案② 2022年(令和4年)度収支予算書の補正の件
- 議案③ 2023年(令和5年)度事業計画書・収支予算書の件

**第6回理事会**

- 議案① 常任理事の選定の件
- 議案② 事務局長の任命の件

## 2 事務局

- ・ 職員1名(植月公子)が自己都合により12月末日で退職。担当していた助成事業部門を和田広子が兼務し、円滑に推進するため非正規雇用者2名で業務を遂行した。
- ・ 新型コロナウイルスに職員2名が感染したが、症状は軽微で、所定期間は自宅勤務等を行い、業務は問題なく遂行することができた。

## Ⅱ 事業報告の附属明細書

### 1 役員等に関する事項

令和5年3月31日現在

役職名	氏名	就任年月日	常勤・非常勤 (報酬)	現職	備考
名誉顧問	福武總一郎	平成27年6月13日	(無)	株式会社ベネッセホールディングス 名誉顧問	
代表理事 理事長	松浦俊明	重任 令和4年6月18日	非常勤(有)	株式会社南方ホールディングス 取締役	
代表理事 副理事長	片山浩子	重任 令和4年6月18日		学校法人アジアの風 岡山外語学院 理事長	
常任理事	中野行雄	重任 令和4年6月18日	週2日勤務 (有)	岡山県備前県民局 元局長	令和5年3月31 日付で退任
理事	谷一尚	重任 令和4年6月18日	非常勤(有)	一般財団法人林原美術館 館長	
	福武美津子	重任 令和4年6月18日		株式会社南方ホールディングス 取締役 株式会社イルグラノ 代表取締役	
	森田 潔	重任 令和4年6月18日		川崎医科大学 特任教授 岡山大学 前学長	
監事	佐藤由美子	重任 令和4年6月18日		奥田法律事務所 弁護士	
	福原一義	重任 令和4年6月18日		福原一義公認会計士事務所 所長、 税理士法人福原会計事務所 代表社員	
評議員	足羽憲治	重任 令和2年6月12日		岡山県土地開発公社 理事長 岡山県 元副知事	
	大原あかね	重任 令和3年6月12日		公益財団法人大原美術館 代表理事理事長	
	越宗孝昌	重任 令和2年6月12日		株式会社山陽新聞社 相談役	
	下妻道郎	重任 令和2年6月12日		株式会社南方ホールディングス 取締役	
	竹井千庫	重任 令和2年6月12日		公益財団法人 日本教育公務員弘済会 岡山県支部 支部長 岡山県教育委員会 前教育長	
	中島義雄	重任 令和2年6月12日	ナカシマホールディングス株式会社 常務取締役		
	原 憲一	重任 令和2年6月12日	RSK 山陽放送株式会社 取締役相談役		
	松本芳範	重任 令和2年6月12日	株式会社ベネッセホールディングス 常勤監査役		
	守安 收	重任 令和2年6月12日	岡山県立美術館 館長		



## 2 職員に関する事項

令和5年3月31日現在

職名	氏名	採用年月日	担当事務	常勤・非常勤	給与月額	備考
事務局長	小川隆正	平成26年4月1日	総括 教育文化事業総括	常勤	有	
職員	三宅千代子	平成13年5月1日	経理・庶務 表彰事業	常勤	有	
職員	和田広子	平成20年4月1日	助成事業、研修会等開催、 調査研究、広報事業	常勤	有	

## 3 役員会等に関する事項

### (1) 理事会

開催又は提案年月日	議事事項	会議の結果
令和4年5月24日 (第1回) 書面決議	第1号提案 2021年(令和3年)度事業報告及び決算の承認の件 第2号提案 2022年(令和4年)度定時評議員会開催の件 第3号提案 補欠評議員候補者の提案の件 報告事項1 資金運用状況報告 報告事項2 2021年(令和3年)度助成事業報告	5月30日 可決
令和4年6月18日 (第2回)	第1号議案 理事及び監事候補者の提案の件 第2号議案 2022年(令和4年)度表彰事業選考委員会委員の選任の件 第3号議案 株主としての権利行使承認の件 報告事項1 代表理事等職務執行状況報告 報告事項2 教育文化活動に関するアンケート調査について 報告事項3 岡山大学寄付講座 第3期活動の開始と令和3年度活動報告	6月18日 可決
令和4年6月18日 (第3回)	第1号議案 理事長、副理事長及び常任理事の選定の件	6月18日 可決
令和5年1月13日 (第4回) 書面決議	第1号提案 2023年(令和5年)度助成事業審査委員会委員の選任の件 第2号提案 2022年(令和4年)第2回評議員会開催の件	1月24日 可決
令和5年3月11日 (第5回)	第1号議案 常任理事の辞任の件 第2号議案 補欠理事候補者の提案の件 第3号議案 特定費用準備資金の保有について(周年事業資金引当預金) 第4号議案 特定費用準備資金の保有について(公募助成資金引当預金) 第5号議案 2022年(令和4年)度収支予算書の補正の件 第6号議案 2023年(令和5年)度事業計画書・収支予算書の件 第7号議案 就業規則一部改正の件 第8号議案 職場におけるハラスメント防止に関する規則制定の件 第9号議案 育児・介護休業等に関する規則一部改正の件 報告事項1 代表理事等職務執行状況報告 報告事項2 資金運用状況報告	3月11日 可決
令和5年3月11日 (第6回)	第1号議案 常任理事の選定の件 第2号議案 事務局長の任命の件	3月11日 可決

## (2) 評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和4年6月18日 (定時)	第1号議案 2021年(令和3年)度事業報告及び決算の承認の件 第2号議案 理事及び監事の選任の件 報告事項1 2021年(令和3年)度助成事業報告 報告事項2 教育文化活動に関するアンケート調査について 報告事項3 岡山大学寄付講座 第3期活動の開始と令和3年度活動報告	6月18日 可 決
令和5年3月11日 (第2回)	第1号議案 補欠理事の選任の件 第2号議案 2022年(令和4年)度収支予算書の補正の件 第3号議案 2023年(令和5年)度事業計画書・収支予算書の件	3月11日 可 決

## 4 行政庁等への申請・届出等に関する事項

申請・届出等年月日	申請・届出等事項	備 考
令和4年6月24日	事業報告等の提出	岡山県知事
令和5年3月29日	事業計画書等の提出	岡山県知事

## 5 主要な契約に関する事項

契約年月日	相 手 方	契約の概要
令和4年4月1日	株式会社吉備人	公式 Web ページ更新業務
令和4年10月1日	株式会社あさひ印刷	助成関連事業の支援業務
令和4年11月15日	一般社団法人高梁川流域学校	高梁川流域マルシェ andF フェス開催事業

## 6 寄附金等に関する事項

寄附の目的	寄附者	申込金額	領収金額	備 考
該当なし				

## 7 行政庁の指示に関する事項

指示年月日	指 示 事 項	履 行 状 況
該当なし		

## 8 税法上の収益事業の有無

届出事業の種類	収 入	備 考
該当なし		

## 9 その他の注意事項

該当なし